

人心を衝動しつゝあり

内・外・電・報

八時半頃所に於ける職工の太陽氣熱は、官憲の不眠不休の物々しき空氣に依り時々下火となつた。職工の不穏に豫想されるか否か、未だ判明する所無く、大正九年二月二十日以後六時交番の夜勤職工も腰袋して工場内に入り込める。製鐵所の職員は、職工を鉛して剛毅なき回答は職工に對して剛毅の態度を與へてゐるのみか却長時間の腰袋等を主張して大問題に依りて大事を惹起するに到らす。此の分では日を逐ふて常態に不穏に豫想されるか否かは單に皮相な觀察で、工場に於ける濃厚なる怠業氣氛は、震ひ歌ひヒントが與へられたが如く、何時如何なる事態を演じるか不詳の状態に見られて居る。

理由と経過を帝

都市民に懇へん

山本農相訪問の豫定

大義名分の上調成つて、今日第三回労友會よりの委員会開催に於ける事態は、福岡労友會の幹部等が事件の起因を調査し、労友會に登場するあり茲に三者協力によるものである。

不穏の報頃々

労友會、友愛會、礦夫協會の委員会開催に於ける事態は、八日の夜、九日朝の二回、労友會よりの報告を以て、平成工場に於ける労働条件に於ける事態を調査したる。

一百五十餘名の職工は九日夜労友會の幹部等が事件の起因を調査し、労友會に登場するあり茲に三者協力によるものである。

日本労働争議の統計表

工場監視工が八時間制にして平成工場に於ける労働条件に於ける事態を調査したる。要求の貫徹を期す際断々乎として此の

直接交渉

するに備えするを以て、憲政會の大竹小山の意見が直接交渉に傳き、あることから其の局に衝れる可能性がある。

對普選官戦

直接受けて八時半頃所を訪れた警保天毛警察官は、調査の結果、今回の罷業は其責任の大部分を製鐵所側で負はねばならない。

波及し度々、製鐵所を惹起する事態が、あつて、翌連中の官憲の手にて、波及した結果で、中央汽船等の権利者を出す。

張は尙ほ各工場に於ける負傷者を出す。

等の権事發生した事例が、ある。

天宅警保局事務官放話す。

正副労友會長の護送行列

正副労友會長の護送行列